

デポアイランド通り会(北谷町)と 台北地下街(台北市)が 交流連携協定を締結



NO.6

【経済産業部】

～グローバル連携による地域活性化～



▲調印式の会場(デポアイランド内のチャペル)

経済産業部では、商店街の振興に取り組んでいます。今年5月22日、北谷町のデポアイランド通り会(奥原 悟会長)と台北市の台北地下街(黄玉珠 理事主席)が、交流連携協定(MOU)を締結しました。県内で海外の商店街とお互いの活性化を目的としてこのような協定を結ぶことは初めてです。

ローカルに根差す グローバルな展開

デポアイランドは、ファッション、グルメ、ライブハウス、美術館等130を超える店舗で構成されています。年間400万人以上が訪れ、経済産業省の「がんばる商店街30選」、「はばたく商店街30選」に選定されています。



▲デポアイランド(北谷町)

一方、台北地下街は全長825mに約260の店舗があり、商店街と一体となっている台北駅は桃園空港から地下鉄(MRT)が直結され、50万人/日が利用する交通の拠点となっています。この2つの商店街が連携により交流人口を増やし、観光や商機の拡大に向けて取り組むことを目指しています。



▲台北地下街の様子

協定の内容

連携協定の内容として、①台北地下街は、広告スペース(W6m、H5m壁面×4ヶ所)を提供し、台北地下街の広報誌にデポアイランド通り会の情報を紹介する、②デポアイランド通り会は、年4回開催される台北地下街でのイベント景品の提供、台北ー沖縄往復航空券8人分と2泊×4部屋(ツインルーム)を提供することとなっています。

連携協定締結及び経緯

平成28年9月、台北地下街の「沖縄の商店街と友好的な交流関係を構築したい」、デポアイランド通り会の「商店街が発展する新たな展開をしたい」との両者の思いから相互に訪問交流が始まり、台北地下街から高さ約5メートル、幅約12メートルの西(その年の干支)をモチーフにした巨大ランタンが寄贈され、デポアイランド通り会は、台北地下街にて北谷町の観光プロモーションを行う等の交流を経て、今回の協定締結に至りました。

調印式において、デポアイランド通り会の奥原会長は「台北地下街との連携により、双方のプロモーションを強化し、両商店街の観光客の誘客に繋げたい」、台北地下街の黄理事主席は「今回の調印式が沖縄の多くの方に台湾を訪れるきっかけになってほしい」と挨拶されました。

経済産業部では今後も、支援制度の活用などにより県内商店街の取組をサポートしてまいります。



▲台北地下街からデポアイランド通り会へ寄贈されたランタン(5m×12m)

経済産業部 商務通商課
流通・サービス産業係

098-866-1731



デポアイランドHP